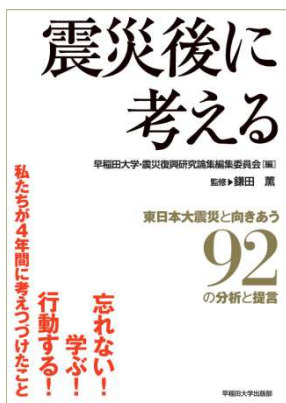




早稲田大学出版部

最新刊「震災後に考える 東日本大震災と向きあう92の分析と提言」新規搭載いたしました！

震災後に考える 東日本大震災と向きあう92の分析と提言



早稲田大学の教員、学生、卒業生を中心とする執筆者たちが、東日本大震災後の4年間、考え、行動し続けてきたことをまとめた研究と支援の記録。総執筆者数130名、掲載論文数92本、総ページ数1000ページを超える、総合大学の底力を示す一冊。

鎌田 薫 監修

早稲田大学震災復興研究論集編集委員会 編

1024ページ ISBN：978-4-657-15003-5 商品コード：1017934840

同時アクセス1価格 ￥14,600（本体） 同時アクセス3価格 ￥21,800（本体）

各部の内容紹介

第1部 被災の状況と災害への対応

東日本大震災の地震・津波被害の正確な把握と対策の工学的な理論・技術を示すにとどまらず、被災直後の対応における学校・商業・物流などの役割やその困難を乗り越えるための課題、災害に伴う環境汚染対策や電力供給システムのあり方、さらに地域社会がこうむった打撃のありようと対応まで、広く深い分析が展開される。

第2部 原子力発電所事故をめぐる

広範で多様な3.11被害のうち、とくに東京電力福島第一原子力発電所事故を取り上げ、原子力発電所に要求される津波対策設計にはじまり、事故による地盤や大気・森林等の汚染への対応方法を社会とのかかわりも含めて追究し、事故の被害のありようとその補償を論じ、さらに原子力発電の将来について、安全規制のあり方、脱原発の可能性まで、幅広く取り上げられる。

第3部 避難者と家族・子どもが直面する問題

三陸等の津波被害も福島原発事故被害も、それまでの生活の基盤をコミュニティごと奪い去り、きわめて多くの人々が家族ごと避難を余儀なくされた。そこで何が起きているのか。住まいや近隣関係の分断、コミュニティの復興の問題、死にもいたるような心の問題、そしてとりわけ子どもたちの困難な状況について、支援のあり方への真剣で実際的な分析・提言が試みられる。

第4部 コミュニティの再建と文化

災害からの復興、そして防災対策は、単に道路や建造物の再建方法やその規模にとどまらず、人々の倫理や社会関係のあり方、そして歴史的に培われてきた防災の知恵と深くかかわって考えられねばならない。伝統芸能の復興の大切さや、支援活動における学びあい、新しい街づくりにおける市民協働のあり方まで、複眼的に示される。

第5部 復興のための制度と法を考える

災害・危機からの復元力や持続可能性を備えた社会の実現には、理念や分析結果が、法律や制度として形成されなくてはならない。どのような制度が選ばれ実際に適用されるべきか。その決定はどのようなルールと手順の下でなされなくてはならないか。復興費用の算定にはじまり、国と自治体等の権限配分、自治体経営のあり方や、自治体間あるいはボランティアとの連携、事業再生策などを問い、具体的な法制度を含めて提言される。

第6部 専門知の力を活かす支援

大震災発生直後から今日まで、多くの人々が現地におもむき、また自らの職場・地域等で支援活動を展開した。その中で、研究者をはじめプロフェッショナルたちは、それぞれの専門力・知恵をどのように活かそうとしたのか。教員養成における防災教育にはじまり、医師、土木技術者、心理学者、教育研究者、小児科医、スクールカウンセラー、トップアスリート、起業支援者など、総合大学ならではの多様な経験・知識を伝える。

第7部 学生ボランティアの展開

早稲田大学の学生たちは、様々な団体・サークルをつうじて、また個人として、積極的に被災地を訪れて、地域ごと復興のフェーズごとの様々なニーズにこたえようと被災者支援に奮闘した。学生たちの貴重な経験と変容の契機ともなったこれらの活動は、WAVOC などにおける震災前からのボランティアの経験の蓄積、てらこやネットワークなどの全国的活動への参加実績から、おのずと湧きあがったものであった。その貴重な記録を整理し、報告する。

第8部 災害を見つめ記録し伝える

被災の過酷な現実を熟視して心に刻み込んで詩歌・文章として、絵画として表現し、それらから何かを感じ取り、次世代に引き継ぐことの意味をしっかりと問い直す論考と、災害の現実をまっすぐ正確に報道しようとした現地ジャーナリストたちのレポートを収録。また津波被害や原発事故の報道・メディアのあり方について科学的視点からの客観的・批判的な評価を行う。

第9部 世界の中の東日本大震災

東日本大震災からの再起・復興を目指す過程では、多くの海外からの支援があった。それは日本が国際社会とりわけアジアの中で生きていることを実感させ、日本の中の国際社会の存在を改めて見つめる機会でもあった。そのグローバルな視点の必要性を確認しつつ、優れた海外（韓国・北米・欧州）研究者の寄稿を得て、東日本大震災とその後のプロセスを分析する論考を収録。また、その延長線上に早稲田大学の新しい将来展望を確認する。

早稲田大学ブックレット<「震災後」に考える>

第1巻-第37巻 セット特価 (商品コード:1018294891)
 同時1アクセス：79,200円(本体) 同時3アクセス：118,800円(本体)

VOL	各巻タイトル	著編者名	発行年	冊子版ISBN	同時 アクセス1 本体価格	同時 アクセス3 本体価格
1	災害時にこそ問われる学級経営力-岩手・三陸編-	河村 茂雄	2011	9784657113016	¥2,200	¥3,300
2	災害に強い電力ネットワーク-スマートグリッドの基礎知識-	横山 隆一	2011	9784657113023	¥2,200	¥3,300
3	東日本大震災とコンビニ-便利さ(コンビニエンス)を問い直す-	川邊 信雄	2011	9784657113030	¥2,200	¥3,300
4	3.11津波で何が起きたか-被害調査と減災戦略-	柴山 知也	2011	9784657113047	¥2,200	¥3,300
5	地方自治体は重い負担に耐えられるか-「民」の力を結集する方法-	小林 麻理	2011	9784657113054	¥2,200	¥3,300
6	拡大する放射能汚染と法規制-穴だらけの制度の現状-	日置 雅晴	2011	9784657113061	¥2,200	¥3,300
7	0泊3日の支援からの出発-早稲田大学ボランティアセンター・学生による復興支援活動-	加藤 基樹	2011	9784657113092	¥2,200	¥3,300
8	復興政策をめぐる《正》と《善》-震災復興の政治経済学を求めて 1-	鈴木 興太郎ほか	2012	9784657113078	¥2,200	¥3,300
9	東日本大震災と憲法-この国への直言-	水島 朝穂	2012	9784657113085	¥2,200	¥3,300
10	学生のパワーを被災地へ!-「早稲田型ボランティア」の舞台裏-	岩井 雪乃	2012	9784657123015	¥2,200	¥3,300
11	文化遺産の保全と復興の哲学-自然との創造的関係の再生-	中川 武、 中川研究室	2012	9784657123053	¥2,200	¥3,300
12	被災地の子どもに寄り添う-臨床心理学からのアドバイス-	本田 恵子	2012	9784657123022	¥2,200	¥3,300
13	三陸にジオパークを-未来のいのちを守るために-	高木 秀雄	2012	9784657123039	¥2,200	¥3,300
14	大規模災害に強い自治体間連携-現場からの報告と提言-	稲継 裕昭	2012	9784657123046	¥2,200	¥3,300
15	「日常」の回復-江戸儒学の「仁」の思想に学ぶ-	土田 健次郎	2012	9784657123138	¥2,200	¥3,300
16	《当事者》としていかに危機に向き合うか-震災復興の政治経済学を求めて 2-	河野 勝ほか	2012	9784657123077	¥2,200	¥3,300
17	早急的確な救援のために-初動体制ガイドラインの提案-	中村 民雄	2012	9784657123107	¥2,200	¥3,300
18	新聞は大震災を正しく伝えたか-学生たちの紙面分析-	花田 達朗、 教育学部花田ゼミ	2012	9784657123084	¥2,200	¥3,300
19	東日本大震災と環境汚染-A-スクターの診断-	香村 一夫ほか	2012	9784657123060	¥2,200	¥3,300
20	ともに生きた 伝えた-地域紙『石巻かほく』の1年-	三陸河北新報社	2012	9784657123145	¥2,800	¥4,200
21	フクシマ原発の失敗-事故対応過程の検証とこれからの安全規制-	松岡 俊二	2012	9784657123121	¥2,200	¥3,300
22	災害に強い社会をつくるために-科学の役割・大学の使命-	鎌田 薫	2012	9784657123152	¥2,200	¥3,300
23	復興に女性たちの声を-「3・11」とジェンダー-	村田 晶子	2012	9784657123169	¥2,200	¥3,300
24	あの日私たちは東北へ向かった-国際協力NGOと3・11-	多賀 秀敏	2012	9784657123176	¥2,200	¥3,300
25	ジャーナリズムの<いま>を問う -早稲田ジャーナリズム大賞パネルディスカッションより-	早稲田大学広報室	2012	9784657123183	¥2,200	¥3,300
26	風化と闘う記者たち-忘れない 平成三陸大津波-	岩手日報社編集局	2012	9784657123190	¥2,200	¥3,300
27	原発政策を考える3つの視点-震災復興の政治経済学を求めて 3-	齋藤 純一ほか	2013	9784657133014	¥2,200	¥3,300
28	震災後に読む文学	堀内 正規	2013	9784657133021	¥2,200	¥3,300
29	津波被災地の500日 -大槌・石巻・釜石にみる暮らし復興への困難な歩み-	浦野 正樹ほか	2013	9784657133038	¥2,200	¥3,300
30	ふくしま・震災後の生活保障-大学生たちの目を見た現状-	菊池 馨実	2013	9784657133045	¥2,200	¥3,300
31	東日本大震災と人間科学① ガジュマル的支援のすすめ -一人ひとりのところに寄り添う	辻内 琢也	2013	9784657133052	¥2,200	¥3,300
32	ともに創る! まちの新しい未来-気仙沼復興塾の挑戦-	早田 幸	2013	9784657133069	¥2,200	¥3,300
33	復興まちづくりに文化の風を-一日中共同ワークショップの試み-	中川武+日中共同ワークショップ 編集委員会 編	2013	9784657133076	¥2,200	¥3,300
34	原子力規制委員会の社会的評価-3つの基準と3つの要件-	松岡俊二・師岡慎一・ 黒川哲志 著	2013	9784657133083	¥2,800	¥4,200
35	フクシマから日本の未来を創る-復興のための新しい発想-	松岡俊二・ いづきおとんとSUN企業組合 編	2013	9784657133090	¥2,800	¥4,200
36	大災害時に物流を守る-燃料多様化による対応を-	早稲田大学マーケティングコミュニ ケーション研究所 (代表 恩蔵直人) 著	2014	9784657143013	¥2,800	¥4,200
37	東京湾岸の地震防災対策-臨海コンビナートは大丈夫か-	濱田 政則・樋口 俊一・中村 孝 明・佐藤 孝治・飯塚 信夫 著	2014	9784657143020	¥2,800	¥4,200

※表示価格は税抜きです。

2015年7月



丸善株式会社 学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
 Tel:03-6367-6008 Fax:03-6367-6184 e-mail:ebook-i@maruzen.co.jp
 営業時間:9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)